

## 北爪真佐夫教授退職記念号によせて

札幌学院大学人文学部長

人文学会長 杉山吉弘

2002年3月、人文学部のみならず大学全体の運営や教育研究に多大な貢献を果たしてきた北爪真佐夫先生をお送りすることになった。人文学部開設以来のその教暦と業績により先生は本学の名誉教授の資格を授与されました。先生は中世政治史に関する多産な研究者として全国的にその名を知られ、我が国の中世史研究に大きな業績を残してきました。また先生にとっては当然のことなのでしょうが、先生は現在もなお研究意欲旺盛で、今後も本学部の紀要に投稿する意思を表明されておられます。先生はたえず、「研究せよ、怠け者は去れ！」というメッセージを、声に出さずとも発信され続けていたように思います。私ども人文学部の教員は、無言ながらゆえに強烈なその叱咤激励のメッセージを決して忘れないでしょう。

先生は国史学会、歴史学研究会、民科歴史部会（のちに歴史科学協議会と改称）、北海道歴史研究会、日本歴史学会といった日本史関連学会に所属し、そこで学会委員などを務められ、会員としての研究活動のみならずその運営にも尽力されてきました。そうした先生の長年の継続的な研究活動に裏打ちされて、先生の存在そのものが研究に精進せよというアウラを発していたのだと思います。

また、先生は校務分掌では本学の困難な時代に学生委員会委員長（現在の学生部長）と教務部長を歴任され、現在に至るまで生きている制度の大枠を定めた諸改革を推進してこられました。また本学教員の研究面での仕事について言えば、われわれ教員の研究活動の基盤づくりと改善・充実に大きな足跡を残した点について、本学の教員は今なお先生の御尽力にお礼を言わなければならないと考えます。本学と本学部の現在が退職される先生がたの努力の歴史に支えられていることを、忘れてはならないと思います。

先生は本学の一般教育あるいは現全学共通教育では日本史や蝦夷論を担当され、人文学部人間科学科の専門教育では「社会生活と人間」コースに所属して、歴史を学ぶ学生たちの教育指導に当たってきました。現在、人間科学科では新しいカリキュラムに再編成され、人間科学の総合的な学習を一層保証した領域複合型教育システムを採用していますが、人文学部の発展を開設以来支えてこられた先生の抜けたあとも学科の専門教育の充実改善に今後とも努めていく所存です。

最後にこの巻頭言をかりて、先生が私どもの大学と人文学部の改善・充実のために長年にわたって御尽力いただいた御苦勞にたいして、人文学部の学生および教員に代わり改めて心から感謝を述べるとともに、先生の今後の御活躍を祈念いたします。